

## 令和元年度北杜市事務事業外部評価の評価結果について

1. 目的 市が実施する事業の必要性や実施方法等について、庁内で実施している事務事業評価に加え、外部からの視点で事業の検証を行うことによる「改革力の強化」と評価の過程をオープンにすることによる「事業見直し過程の見える化」を行い、スリムで効率的な行政運営を推進するとともに、事業に対する行政の説明責任を徹底し、「職員の意識改革」を図るため、実施しました。
2. 実施方法 北杜市行政改革推進委員会委員がコーディネーター及び評価人として参加し、コーディネーターによる進行の下、評価人は市職員から事業説明を受け、質疑応答や議論を行った上で、評価を行いました。
3. 実施日 令和元年10月20日(日)

事業番号	事業名	所管課	評価人の意見・評価
1	適正処理困難物等収集事業	環境課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミを処理する市の責務、排出者が自己処理していく自己責任、そのバランスをどう考えるか。排出者の自己責任を意識しながら制度を改善していく必要がある。</li> <li>・不法投棄対策としての一面をもう少し強化するために、料金設定やモラル、自己処理に必要な情報の提供等を工夫する必要がある。</li> <li>・独居老人等、排出が困難な方をどう支えていくか、市だけでなく地域も含めてどのようにサポートしていくかを中長期的な観点で検討していただきたい。</li> </ul>
2	北杜ふれあい塾開催事業	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習という事業自体は非常に重要。見直し・改善の中で活用できるものは多彩に活用するという観点から、民間事業者の活用などを検討していくことも必要である。</li> <li>・一般受講者との平等性を考慮した負担の適正化や自己負担割合を定める仕組みについて検討するとともに、さらに事業内容を充実させるため、受講料をあげる見直しも必要である。</li> <li>・申し込み期限の柔軟性を確保すること、通年にわたり事業を行うことや若年世代等の興味を引くような事業内容、広報等の工夫も必要ではないか。</li> <li>・全体的に生涯学習に関わるたくさんの事業があるので、トータルで総合的な事業が行われるように調整する仕組みづくりを工夫していただきたい。</li> <li>・ふれあい塾のそもそもの意義は何かをよく定め、事業自体の位置づけ、狙いを整理する必要がある。</li> </ul>
3	外出支援サービス事業	福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出支援サービスの他に、障がい、虚弱、介護支援が必要など、弱い立場にある方の足の確保という点で共通した、モデル事業の「でかけーる」や障がい者向けのサービスもあることから、ある程度事業をひとつにまとめ、利用しやすい事業になるように検討していただきたい。</li> <li>・公共交通体系の見直しの中で、弱い立場の人の足の確保をどうするかというところを常に意識して事業を進めていただきたい。</li> <li>・利用者目線にたった形で、よりよいサービスになるように工夫していただきたい。</li> </ul>
4	特定鳥獣適正管理事業	林政課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・猟友会会員の確保のためにいろいろな発掘策を練る必要があり、猟友会の方々のおかげで鳥獣被害の問題が今の状態で保たれているという事を積極的にPRしていく必要がある。</li> <li>・本事業は環境省所管の事業ですが、適正頭数の管理と合わせて農水省所管の鳥獣害の被害防止措置を合わせて行っていく必要がある。「餌をあげない」とか「隠れ場所を除去する」などを行いながら、適正な鳥獣のあり方を考えていく必要がある。</li> <li>・鳥獣害の防止措置を行っていくためには、地域の人々の協力、猟友会の勤務先の協力等、市内各位の協力を得ていくような仕組みをさらに積極的に進めていただきたい。</li> </ul>